

<p>項目</p>	<p>書名 SUNSHINE ENGLISH COURSE</p> <p style="text-align: right;">9 開隆堂</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<p>○小学校で学んだことを、1・2学年の教科書には明示し、円滑な接続が図れるよう意図されている。</p> <p>○前回より4技能を総合的に育成する活動が取り入れられており、コミュニケーション能力の基礎を育成できるよう工夫されている。</p> <p>○今回から、全学年の巻末に「Can-Do リスト」が添付され、定期的に理解している内容を確認でき、自ら学ぶ意欲を高めるようになっている。</p>
<p>特</p>	<p>内容</p> <p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○Program, POWER-UP, My Project の3部から構成され、Program の各セクションの Basic Dialog で基本対話を学び、Listen, Speak, Try で同パターンの基本練習を行い、本文学習後に Write で自己表現力を行わせている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○Program ごとに基礎的技術を4技能別に身につけさせ、各学期に1回 My Project で統合的に取り組み、よく考え、自分自身の英文を考え、発表することで、実用的コミュニケーション力を養えるようになっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○新出単語や発音チェックができるようマークが設けられている。「英語のしくみ」でも自身で復習できるようになっている。</p> <p><聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫> ○各セクションの取組に Listen, Speak, Write 等と目的が明示されており、何を目標とするか判るようになっている。</p> <p>○Power-Up, 2・3学年 Extensive Reading のコーナーで、4技能を活用して取り組める工夫がなされている。</p>
<p>色</p>	<p>資料</p> <p>○巻頭に本文関連写真がある。各セクションの本文は右に置かれ、新出単語が本文横に置かれている。</p> <p>○巻末には表現活動に活用できる語彙集、英語表現等がカラーで紹介されている。今回全学年で「Can-Do (できること) リスト」が添付されている。さらに、1学年の切り離しできる「アクションカード」、2, 3年生には会話練習用「クイックQ&A」が今回もある。</p>
<p>表記・表現</p>	<p>○1学年では、Program8 My Project まではブロック体で表記指、それ以降は活字体を用いている。2・3学年は本文で活字体、それ以外にブロック体を使用。さらに各学年で、日記・スピーチ・手紙文で手書き風の事態を使用している。また1学年の各単語にアクセント付記、2・3学年で発音記号が併記される。欄外に音声面のアドバイスや不規則動詞の語形変化が記載される。</p> <p>○1学年 Program5 以降、文字が小さくなり、行間を広くした。2学年以降は情報量を増やすため、文字がさらに小さく、行間も狭くなっている。</p>
<p>総括</p>	<p>○構成は、Program で基礎を学び、Power-Up で4技能を活用してバランス良くコミュニケーション能力を高め、さらに My Project で学期のまとめとして学んだことを統合的・発展的に学習し、自己表現力・実践力を身につけるという前回同様の構成となっている。</p> <p>○題材は、前回とほぼ同じ話題となっており、外国の日常生活・風俗・習慣・文化について理解を深め尊重する態度を育成すると共に、我が国の伝統文化を見直し、これを外国に発信できる基礎的スキルを身につける仕組みとなっている。</p> <p>○付録に「Can-Do リスト」が付いたのが大きな進歩である。</p>